

大崎猛攻突き放す

夏 高校野球 都大会

夏の全国高校野球大会の東京都大会は8日、2回戦計7試合が行われ、新宿や日体大荏原などがコールドで勝利した。大崎や足立新田なども3回戦へ駒を進めた。9日は東大会で2回戦計5試合が予定されている。

大崎一黒 力投する大崎の投手・渡辺



東京都

渡辺好リリーフ

①大崎の渡辺恵太投手(3年)が、ロングリリーフでチームを勝利に導いた。一回に先発投手が相手打線に捕まり、早々にマウ

ンドに上がったが、相手打者の癖を見極めるなどして「準備はできていた」という。

1身63と小柄な体格ながら、腕を大きく使った横手投げで低めに球を集め、要所を抑えた。左脚がつりそうになった最終回は仲間の「思い切りいけ」の声を支えに投げきった。

きのうの結果

東京都

▽2回戦

◇神宮球場◇

桐ヶ丘三商千早 000 000
宿 0617 5X 281
(5回コールド)

大崎 024 100 500
目黒 050 000 110 712

成城 510 000 001 18
桜修館 000 000 000 18

◇JFAセットスタジアム江戸川◇

墨田工 012 061 010
大山 000 000 010

(6回コールド)

国学院 000 000 000 0
足立新田 000 000 04X 4

◇大田スタジアム◇

田園調布 021 000 0
日体大荏原 025 230 X 123

(7回コールド)

荒 121 000 002X 6.5
川 工 000 000 001 6.5

1、2年生の夏は登板できずに初戦敗退した。在学中の夏の公式戦初勝利を目指し、冬場は筋力トレーニングで下半身を鍛え、スタミナを強化。綿引良宏監督から「中継ぎのエース」と称されるようになった。この日は終盤まで安定した投球を見せ、「悔しい思いを晴らすことができた」と笑顔を見せた。

大崎一黒 2回2死満塁、目黒の2塁走者・河野(左)をタッチアウトにする大崎の捕手・熊谷(8日、神宮球場で) 後藤嘉信撮影